手紙

慶応三年四月二十八日　菅野覚兵衛、高松太郎あて

坂本龍馬

青空文庫

拝啓。然に大極丸は後藤庄次郎引受くれ申候。そして小弟をして海援長と致し、諸君其まゝ御修業被成候よふ、つがふ付呉候。是西郷吉が老侯にとき候所と存候。福岡藤次郎此儀お国より以て承り申候。然に此度土州イロハ丸かり受候て、大坂まで急に送り申候所、不計も四月廿三日夜十一時頃、備後鞆の近方、箱の岬と申所にて、紀州の船直横より乗かけられ、吾船は沈没致し、又是より長崎へ帰り申候。何れ血を不見ばなるまいと存居候。其後の応接書は西郷まで送りしなれば、早々御覧可被成候。航海日記写書送り申候間、御覧可被成候。此航海日記と長崎にて議論すみ候までは、他人には見せぬ方が宜と存候。西郷に送りし応接書は早　天下の耳に入候得ば、自然一戦争致候時、他人以て我も尤と存くれ候。惣じて紀州人は我々共及便船人をして、荷物も何にも失しものを、唯鞆の港になげあげ主用あり急ぐとて長崎に出候。鞆の港に居合せよと申事ならん。実に怨み報ぜざるべからず。

四月二十八日　　早々頓首。
　　才谷　龍

菅野覚兵衛様
多賀松太郎様

追而船代の外二千金かりし所、是は必代金御周旋にて御下被成るよふ御頼み申候。

別紙ハ航海日記、応接一冊を西郷ニ送らんと記せしが猶思ふに諸君御覧の後、早々西、小松などの本ニ御廻、付てハ、石川清の助などにも御見せ奉願候。又だきにて御一見の後、御とゞ（め）おき被成候てハ、不安候間、御らん後、西郷あたりニ早　御見せ可被下候。実ハ一戦仕りと存候間、天下の人ニよく為知て置度存候。早々。

四月廿八日　　龍

菅野様
多賀様

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※「御下被［＃レ］成るよふ御頼み申候。」の後に、（坂本直衛旧蔵）とあります。
※「多賀様」の後に、（野島家文書）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年8月26日作成
2011年6月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応三年四月二十八日　菅野覚兵衛、高松太郎あて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/